

令和7年度

大阪府立寝屋川高等学校

学校教育自己診断

結果と分析

実施日 令和7年12月

Google Form で実施

実施対象 生徒 885/1023 (86.5%)

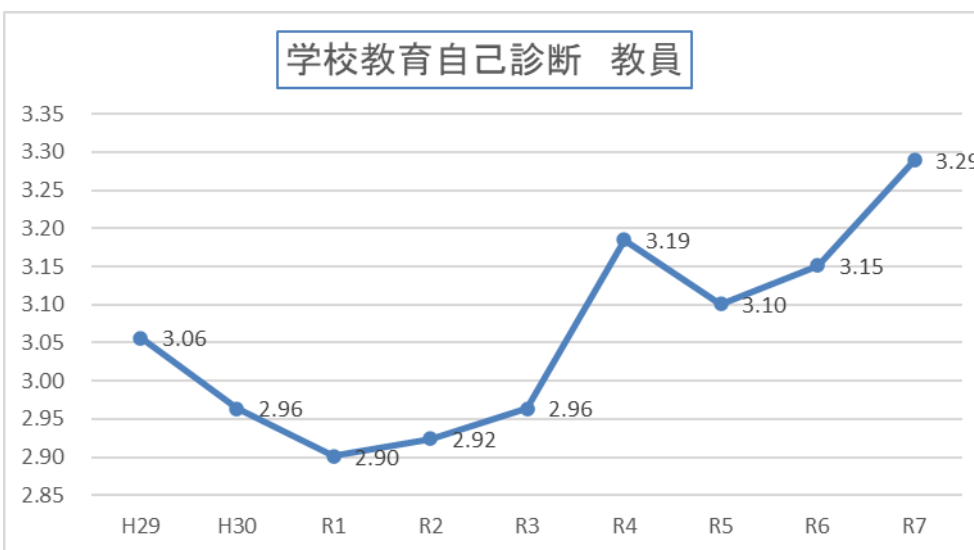
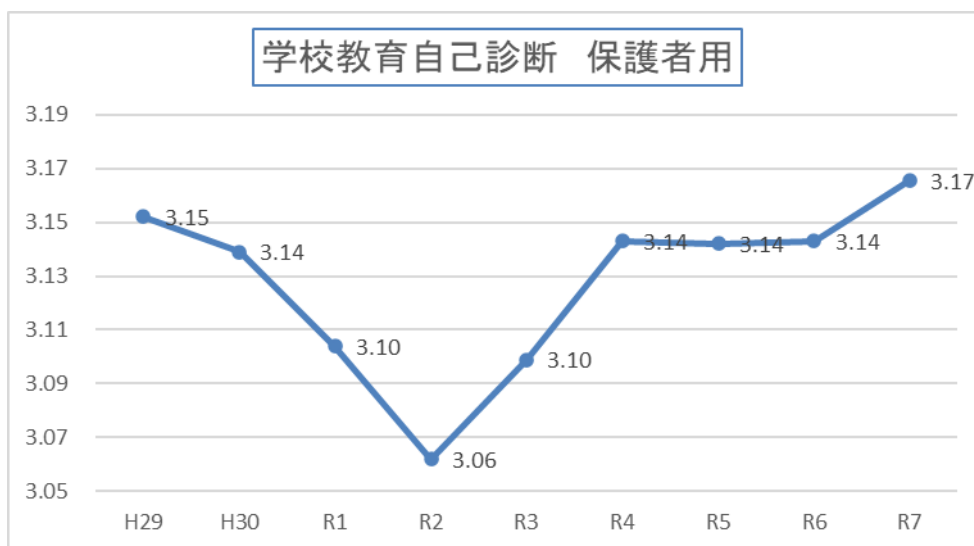
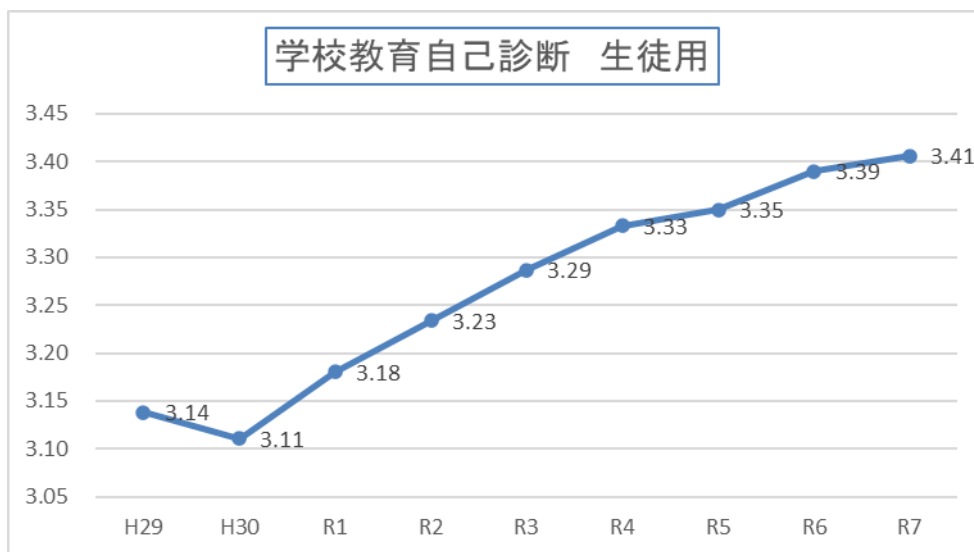
保護者 525/1023 (51.3%)

教員 54/62 (87.1%)

全項目の平均値 経年変化

注) R5,R7 に若干の質問項目および言い回しの変更(全体の5~11%)があった

『そう思う』:4点 『どちらかといえばそう思う』:3点 『どちらかといえばそう思わない』:2点 『そう思わない』:1点
とした平均値 (値が4に近づくほど評価が高い)



生徒編

教育庁の質問例を参考に2項目を変更し、全17項目で実施した。

「そう思う・どちらかと言えばそう思う」といった肯定的に回答が80%を超えた項目は15項目、うち90%を超えたのは昨年度から1項目増え12項目だった。

評価数値^{※1}の全項目平均値^{※2}は年々上昇傾向にあり、過去最高値だった昨年度をさらに上回る結果となった。昨年度比較で最も大きく上昇した項目は「学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している」で、3.28→3.45(肯定回答85.4%→90.4%)に上昇した。

※1)『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点としての平均値

※2) R5,R7に若干の質問項目や表現に一部変更(全体の約5%)があるため、厳密な経年比較ではない

評価数値が昨年度を上回った項目(上昇率順上位3項目)

「学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している」〈1人1台端末〉

「学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある」〈道德・人権〉

「先生は教え方を工夫してよく分かる授業をしてくれる」〈学習〉

肯定的な回答が80%に満たなかった項目

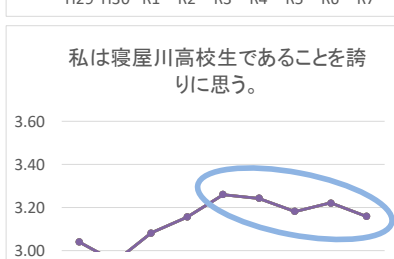
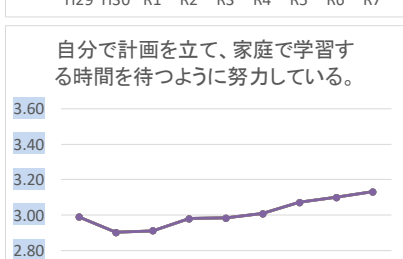
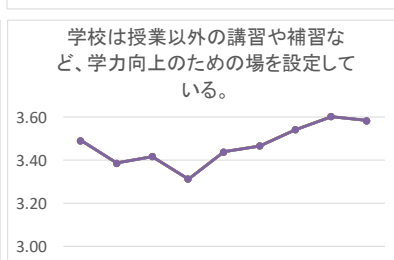
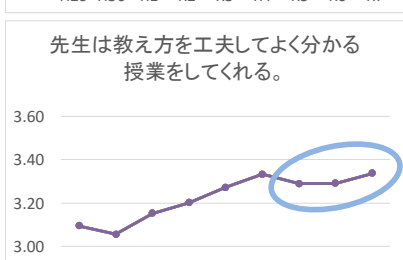
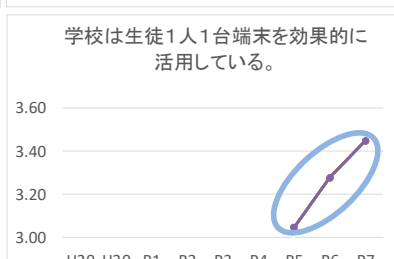
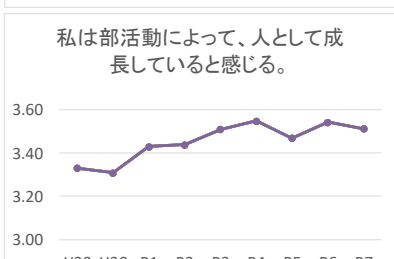
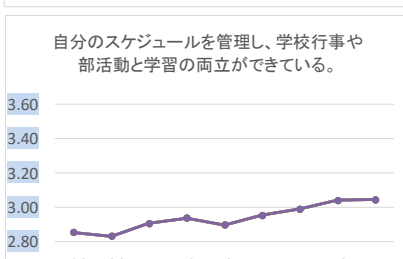
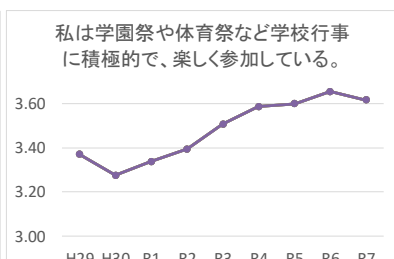
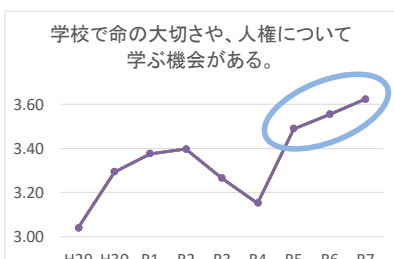
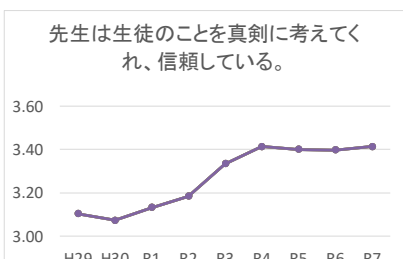
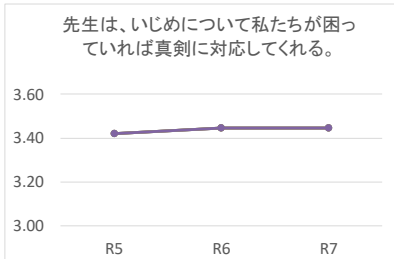
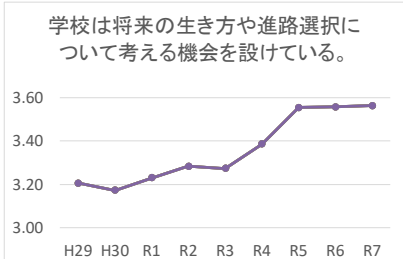
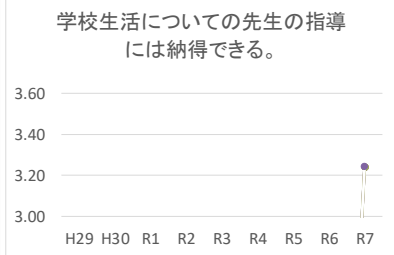
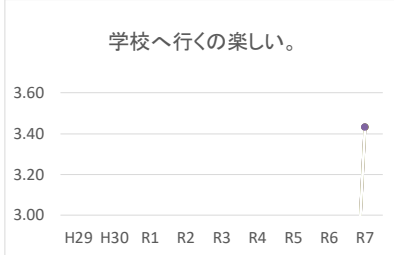
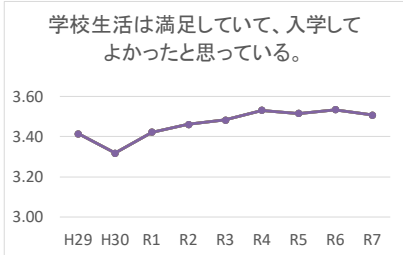
「自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができている」〈学校生活〉

「自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している。」〈学習〉

- ① 重要項目である「学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている」の数値は3.53→3.51と僅かに低下したが、肯定的な回答は過去最高の94.1%であった。一方で、「そう思う」と回答した強い肯定については62.1%→58.1%に減少し、過去3年では最も低い値となった。強い肯定についてはこの3年間「寝屋川高校生であることを誇りに思う」との間に相関がみられており、学校生活への一定の満足感は維持されているものの、学校への誇りを感じている生徒が減少傾向にあることが、経年グラフからも読み取れる。今年度に関しては入学者選抜における定員割れも影響していると推察される。引き続き、寝屋川高校のブランド力を高めるために、魅力づくりと魅力発信に注力していきたい。
- ② 「学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している」ではこの3年間で3.04→3.28→3.45と大幅に上昇している。進路部を中心にスタディサプリの活用を促していること、数学や物理においてデジタル教科書とデジタル問題集を使用していることなどに加え、授業において生成AIを利用する頻度が増えたことが要因と考えられる。1年生が3.55と最も高い数値であり、HRの時間を使い1学期に生成AI活用練習を行ったことも影響したと推察される。
- ③ 肯定回答が80%を切っている項目「自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができている」「自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している」においてはこの数年、緩やかな上昇が続いている。両項目ともに今年度、過去最高値3.05(肯定回答76.7%)、3.13(肯定回答78.8%)であり、模試の振り返りの時間を確保していることや、生徒の進路実現に対するの教員側の意識向上が関係していると推察される。本校では昨年度から「育てたい育てるべき生徒像」のテーマ『自考自走』を掲げており、この2項目に関してはこれからも注視し、さらなる働きかけをしていきたい。

学校教育自己診断 生徒用 経年変化						:昨年度比較で増加			
『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点 としての平均値									
年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
全体	3.14	3.11	3.18	3.23	3.29	3.33	3.35	3.39	3.41
学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている。	3.41	3.32	3.42	3.46	3.48	3.53	3.52	3.53	3.51
学校へ行くのが楽しい。									3.43
学校生活についての先生の指導には納得できる。									3.24
学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている。	3.21	3.17	3.23	3.28	3.27	3.39	3.55	3.56	3.56
学校は将来の生き方や進路選択について相談する機会を設けている(R4年度まで)									
先生は、はじめについて私たちが困っていれば真剣に対応してくれる。							3.42	3.45	3.45
学校には、悩みを相談できる人や場所がある。	2.99	3.02	3.07	3.11	3.15	3.32	3.30	3.33	3.31
先生は生徒のことを真剣に考えてくれ、信頼している。	3.10	3.07	3.13	3.18	3.33	3.41	3.40	3.40	3.41
学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある。	3.04	3.29	3.38	3.40	3.26	3.15	3.49	3.55	3.62
私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的に、楽しく参加している。	3.37	3.28	3.34	3.39	3.51	3.59	3.60	3.66	3.62
自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができています。	2.85	2.83	2.91	2.94	2.90	2.96	2.99	3.04	3.05
私は部活動によって、人として成長していると感じる。	3.33	3.31	3.43	3.44	3.51	3.55	3.47	3.54	3.51
自分は部活動に意欲的に参加していて、成長していると思う(R.4年度まで)									
学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。							3.04	3.28	3.45
先生は教え方を工夫してよく分かる授業をしてくれる。	3.09	3.06	3.15	3.20	3.27	3.33	3.29	3.29	3.34
授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	3.20	3.13	3.20	3.17	3.27	3.51	3.38	3.40	3.36
学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している。	3.49	3.39	3.42	3.31	3.44	3.47	3.54	3.60	3.58
自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している。	2.99	2.90	2.91	2.98	2.98	3.01	3.07	3.10	3.13
私は寝屋川高校生であることを誇りに思う	3.04	2.95	3.08	3.15	3.26	3.24	3.18	3.22	3.16

学校教育自己診断 生徒用経年変化 R7回答数885人



生徒 肯定的な回答の割合 経年比較

(そう思う・どちらかというと思う)

2%以上上昇項目: 2
2%以上下降項目: 3

	1年	2年	3年	R.5(%)	R.6(%)	R.7(%)
学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている。	94.8	94	93.4	93.9	93.8	94.1
学校へ行くのが楽しい。	93.2	90.3	88.6			90.7
学校生活について先生の指導には納得できる。	89.6	85.9	86.6			87.4
学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている。	95.8	97.8	95.8	96.7	95.8	96.5
先生は、いじめについて私たちが困っていれば真剣に対応してくれる。	97.4	89.9	95.8	95.4	96.4	94.4
学校には悩みを相談できる人や場所がある。	87.7	84.4	90.9	88.1	88.0	87.7
先生は生徒のことを真剣に考えてくれ、信頼している。	93.5	88.8	93.2	92.8	92.8	91.8
学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある。	98.1	99.2	96.1	94.8	96.9	97.8
私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的に、楽しく参加している。	94.8	96.3	93.4	94.9	96.2	94.8
自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができています。	72.6	75.5	82	74.2	75.5	76.7
私は部活動によって、人として成長していると感じる。R7:無所属(11.3%)を除く	93.6	94	93.8	91.8	94.1	93.8
学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。	94.5	93.3	83.3	74.9	85.4	90.4
先生は教え方を工夫してよくわかる授業をしてくれる。	93.8	88.8	93.1	91.1	90.8	91.9
授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	92.9	88.4	92.4	90.8	93.5	91.2
学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している。	97.4	95.9	97.1	96.8	97.4	96.8
自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している。	67.4	79.2	89.9	78.2	77.6	78.8
自分は寝屋川高校生であることを誇りに思う。	81	81.7	84.7	83.9	84.6	82.5

生徒 強い肯定の割合 経年比較

3%以上上昇項目: 3
3%以上下降項目: 2

(そう思う)

	1年	2年	3年	R.5(%)	R.6(%)	R.7(%)
学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている。	55.8	56.1	62.4	59.0	62.1	58.1
学校へ行くのが楽しい。	54.8	54.6	55.9			55.1
学校生活について先生の指導には納得できる。	40.6	36.8	41.5			39.6
学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている。	61.9	61.7	58.2	59.3	61.0	60.6
先生は、いじめについて私たちが困っていれば真剣に対応してくれる。	53.9	45.7	54.6	48.0	48.7	51.4
学校には悩みを相談できる人や場所がある。	47.4	40.9	52.3	45.6	47.7	46.9
先生は生徒のことを真剣に考えてくれ、信頼している。	53.5	45.7	53.3	49.1	48.3	50.8
学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある。	67.1	63.9	63.4	55.1	59.0	64.8
私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的に、楽しく参加している。	68.7	67.7	68.6	66.3	70.8	68.3
自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができています。	30	29	41.8	32.2	33.9	33.6
私は部活動によって、人として成長していると感じる。R7:無所属(11.3%)を除く	55.18	59.69	66.59	57.2	62.3	60.5
学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。	61	57.2	51.6	38.2	46.6	56.6
先生は教え方を工夫してよくわかる授業をしてくれる。	50.6	34.2	45.4	40.3	39.9	43.4
授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	49.4	36.4	51.6	48.7	47.7	45.8
学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している。	67.1	59.5	59.8	57.8	63.4	62.1
自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している。	32.9	33.5	52	35.3	38.0	39.5
自分は寝屋川高校生であることを誇りに思う。	37.1	34.9	46.1	39.6	42.7	39.4

保護者編

教育庁からの必須3項目に変更した全16項目で実施した。

「そう思う・どちらかと言えばそう思う」といった肯定的な回答が80%を超えた項目は、14項目(R6は13項目)、90%を超えたのは6項目(R6は8項目)だった。

評価数値^{※1}の全項目平均値^{※2}は年々上昇傾向にあり、過去9年間で最も高い数値だった。

※1)『そう思う』4点、『どちらかと言えばそう思う』3点、『どちらかと言えばそう思わない』2点、『そう思わない』1点としての平均値

※2) R5,R7に若干の質問項目や表現に一部変更(全体の約11%)があるため、厳密な経年比較ではない

評価数値が昨年度を上回った項目(上昇率順上位5項目)

「学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」〈進路〉

(R6年度まで:学校の進路指導は豊富な情報提供など丁寧に指導している)

「学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している」〈参画〉

「学校は、教育情報について、提供の努力をしている」〈情報提供〉

(R6年度まで:学校は教育方針や教育活動を丁寧に発信している)

「先生は保護者の相談に丁寧に応じている」〈参画〉

「学校は豊かな人間力を育もうと取り組んでいる」〈道徳・人権〉

肯定的な回答が80%に満たなかった項目

「施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている」〈学校に対する意識〉

「子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている」〈学習〉

- ① 重要項目である「入学させて良かったと満足している」は3.52(肯定回答94.1%)であった。昨年度の肯定的な回答は93.6%であり、若干の増加がみられた。しかし、強い肯定で見ると60.8%→58.5%と減少しており、教育活動の質のさらなる向上や、きめ細かな情報発信・支援の充実に取り組むことにより、より満足度の高い学校づくりを進めていきたい。
- ② 「学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」が3.05→3.19(肯定回答81.1%→87.4%)と上昇した。設問文が昨年度までの「学校の進路指導は、豊富な情報提供など丁寧に指導している」と異なるため、単純な比較はできないものの、“夢ナビ”や“未来辞典”を保護者懇談においても活用したこと、またインターンシップ等、進路部を中心とした新たな取組が、評価の向上に一定程度寄与していると考えられる。
- ③ 「学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している」は狙い通り3.05→3.12と上昇した。昨年度の本アンケート振り返りにおいて、保護者の意見を聞く機会を増やし、ニーズに対応できる学校をめざすことを掲げ、今年度はPTA保護者役員と教職員との連携強化、本アンケートにおいて具体的な意見を伺う項目を追加するなど、新たな取組みの結果と考えられる。
- ④ 「子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている」は、施設設備面に次ぐ2番目に低い2.74(肯定回答67.2%)であった。生徒編「先生は教え方を工夫してよくわかる授業をしてくれる」3.34(肯定回答91.9%)の高評価とは乖離する結果であった。設問が生徒の発言の有無を問うものになっていることが要因として考えられるが、本校の授業に関する取組み(工夫、研究授業、相互見学週間、講習、補習等)も積極的に情報発信すべきといえる。

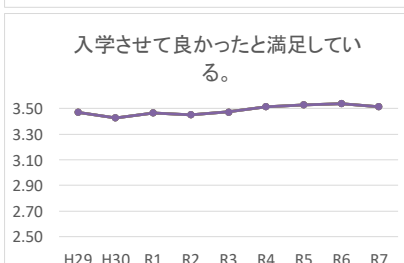
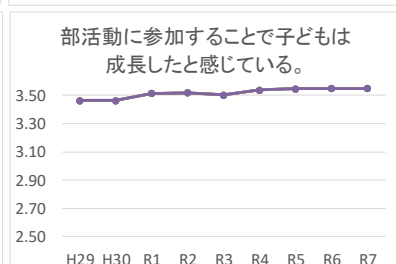
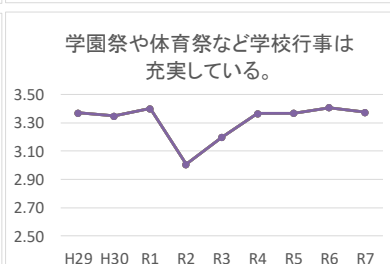
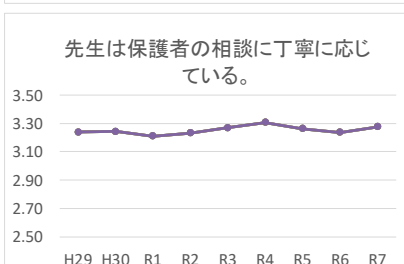
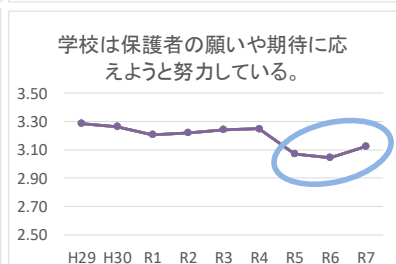
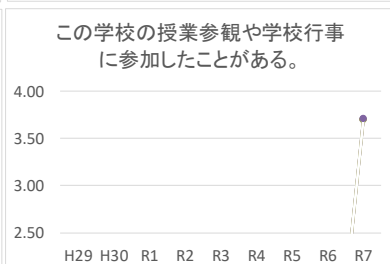
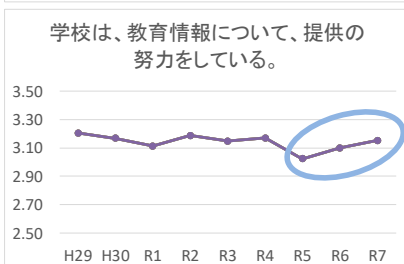
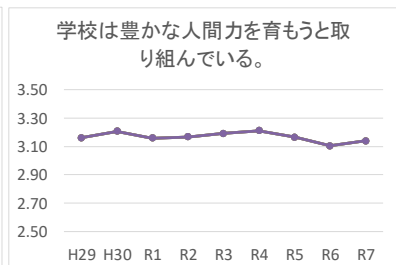
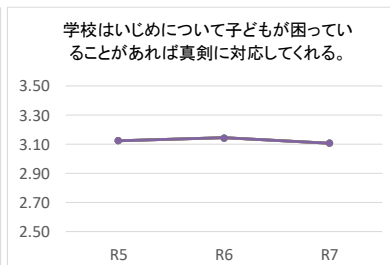
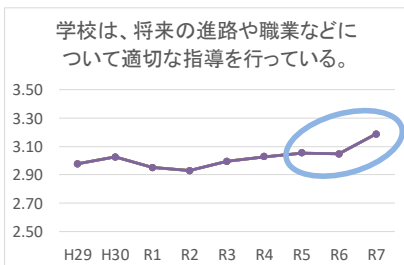
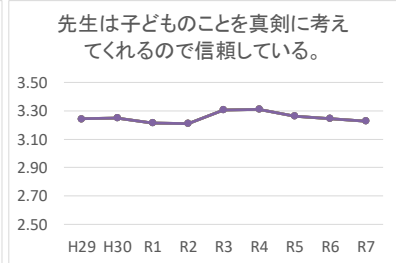
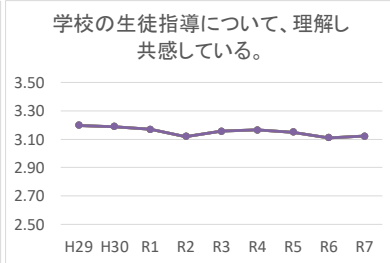
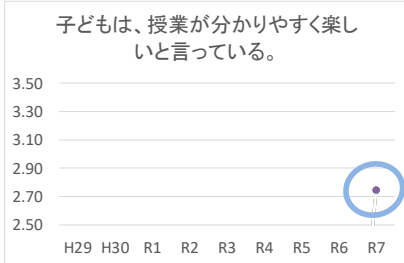
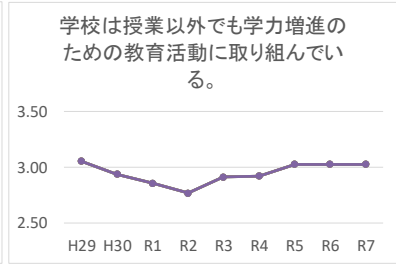
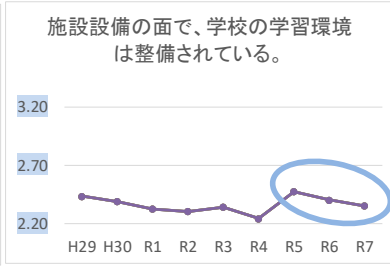
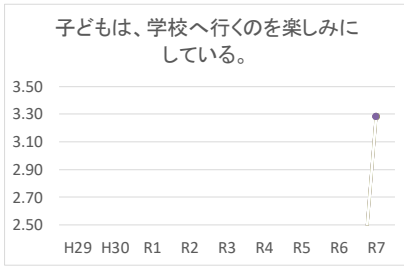
学校教育自己診断 保護者用 経年変化

：昨年度比較で増加

『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点 としての平均値

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
全体	3.05	2.96	2.90	2.92	2.95	3.14	3.14	3.14	3.17
子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。									3.28
施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている。	2.44	2.39	2.33	2.31	2.34	2.25	2.48	2.40	2.35
学校は授業以外でも学力増進のための教育活動に取り組んでいる。	3.05	2.94	2.86	2.77	2.91	2.92	3.03	3.03	3.03
子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。									2.74
学校の生徒指導の方針に共感できる。 学校の生徒指導について、理解し共感している(R.6年度まで)	3.20	3.19	3.17	3.12	3.16	3.17	3.15	3.11	3.12
先生は子どものことを真剣に考えてくれるので信頼している。	3.24	3.25	3.22	3.21	3.31	3.31	3.26	3.25	3.23
学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。学校の進路指導は豊富な情報提供など丁寧に指導している(R.6年度まで)	2.98	3.02	2.95	2.93	2.99	3.03	3.05	3.05	3.19
学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。							3.13	3.15	3.11
学校は豊かな人間力を育もうと取り組んでいる。	3.16	3.21	3.16	3.17	3.19	3.21	3.16	3.11	3.14
学校は、教育情報について、提供の努力をしている。学校は教育方針や教育活動を丁寧に発信している(R.6年度まで)	3.20	3.17	3.11	3.19	3.15	3.17	3.02	3.10	3.15
この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。									3.70
学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している。	3.29	3.26	3.21	3.22	3.24	3.25	3.07	3.05	3.12
先生は保護者の相談に丁寧に応じている。	3.24	3.24	3.21	3.23	3.27	3.31	3.26	3.24	3.28
学園祭や体育祭など学校行事は充実している。	3.37	3.35	3.40	3.01	3.20	3.37	3.37	3.41	3.37
部活動に参加することで子どもは成長したと感じている。	3.46	3.46	3.51	3.52	3.50	3.54	3.55	3.55	3.55
入学させて良かったと満足している。	3.47	3.43	3.47	3.45	3.47	3.52	3.53	3.54	3.52

学校教育自己診断 保護者用経年変化 R7回答数525人



保護者 肯定的な回答割合 経年比較

(そう思う・どちらかというと思う)

2P以上上昇項目: 3

2P以上下降項目: 1

R.5 (%)

R.6 (%)

R.7 (%)

	R.5 (%)	R.6 (%)	R.7 (%)
子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。			87.3
施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている。	49.7	47.3	44.0
学校は授業以外でも学力増進のための教育活動に取り組んでいる。	81.0	79.9	80.6
子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言ってる。			67.2
学校の生徒指導の方針に共感できる。	89.5	86.5	86.7
先生は子どものことを真剣に考えてくれるので信頼している。	91.4	90.7	88.8
学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	83.1	81.1	87.4
学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	92.5	92.1	90.8
学校は豊かな人間力を育もうと取り組んでいる。	89.9	86.9	87.4
学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	80.1	84.1	86.3
この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。			93.7
学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している。	86.1	84.3	87.3
先生は保護者の相談に丁寧に応じている。	92.4	91.7	91.0
学園祭や体育祭など学校行事は充実している。	93.1	94.6	93.2
部活動に参加することで子どもは成長したと感じている。(部活加入者のみ回答)	92.5	95.4	95.6
入学させてよかったと満足している。	95.7	93.6	94.1

保護者 強い肯定の割合 経年比較

3P以上上昇項目: 5

3P以上下降項目: 0

(そう思う)	R.4 (%)	R.5 (%)	R.6 (%)
子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。			44.4
施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている。	8.6	8.5	7.6
学校は授業以外でも学力増進のための教育活動に取り組んでいる。	23.2	24.3	25.7
子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言ってる。			11.6
学校の生徒指導の方針に共感できる。	27.0	26.3	28.6
先生は子どものことを真剣に考えてくれるので信頼している。	36.2	35.3	36.6
学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	23.6	24.9	33.5
学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。		22.8	21.3
学校は豊かな人間力を育もうと取り組んでいる。	27.1	25.1	29.1
学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	23.6	26.8	32.0
この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。			79.6
学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している。	22.0	20.8	26.7
先生は保護者の相談に丁寧に応じている。	35.3	32.2	37.7
学園祭や体育祭など学校行事は充実している。	44.8	46.9	46.3
部活動に参加することで子どもは成長したと感じている。(部活加入者のみ回答)	64.1	60.4	60.9
入学させてよかったと満足している。	58.0	60.8	58.5

教 職 員 編

昨年度と同様の全 16 項目で実施した。

「そう思う・どちらかと言えばそう思う」といった肯定的な回答が 80%を超えは 15 項目（昨年度 11 項目）、のうち 90%を超えたのは 14 項目（昨年度 6 項目）と大幅に増加し、高い自己肯定感を持っていることを示す結果となった。

評価数値※¹の全項目平均値※²は 3.29 と（R6 は 3.15）過去最高値であった。

※1) 『そう思う』 4 点、『どちらかといえばそう思う』 3 点、『どちらかといえばそう思わない』 2 点、『そう思わない』 1 点としての平均値

※2) R5 に若干の質問項目や表現に一部変更（全体の約 18%）があるため、厳密な経年比較ではない

評価数値が昨年度を上回った項目（上昇率順上位 5 項目）

「学校の人権教育体制は十分に機能している」〈その他〉

「いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている」〈いじめ〉

「学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するよう努めている」〈情報提供〉

「学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している」〈学校組織〉

「学校は生徒に寄り添った(生活)指導を行っている」〈生徒指導〉

肯定的な回答が 80%に満たなかった項目

「学校には P D C A サイクルに沿った改善志向が浸透している」〈教育活動改善〉

- ① 「学校の人権教育体制は十分に機能している」が 2.98→3.38(肯定回答 79.6%→96.3%)と大きく上昇した。これまで年間通して数回だった人権教育推進委員会を月 1 回実施し、学年を越えた打合せが行われたことで担任団への情報共有が円滑に行われたことや、生徒向けには差別問題についてジブリ作品を絡めた講演、教員向けには発達障がいについて参加者が一緒に考えながら学ぶ形の研修など印象に残るものであったことが数値を押し上げた要因と考えられる。
- ② 「いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている」は 3.04→3.37（肯定回答 77.6%→90.7%）と前は全項目の中で最も低い数値だったが今回大きく上昇した。職員会議で『生徒指導提要』や『いじめの定義』の再確認をおこなったことから、今年度はいじめに対して共通認識をもって対応できたことが理由として考えられる。
- ③ 「学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するよう努めている」は 3.35(肯定回答 96.3%)であり強い肯定が 18.4%→38.9%と大きく増加した。要因としては新たに始めた学校公式の Instagram や HP 更新回数の増加が考えられる。
- ④ 「学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している」は 3.04→3.26、「学校は生徒に寄り添った(生活)指導を行っている」は 3.23→3.43（特に、強い肯定が大きく増加 28.6%→46.3%）と上昇した。これは他校に比べて『遠隔授業・通信制教育』を先行して導入し、不登校の生徒に対しこれまで提案できていなかった学習保障を含めた支援の実施に至っていることが理由と考えられる。

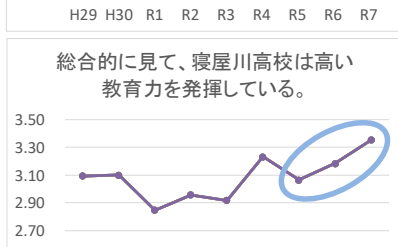
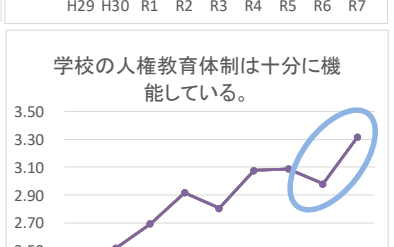
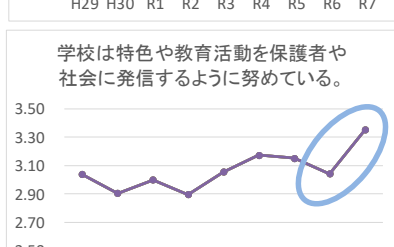
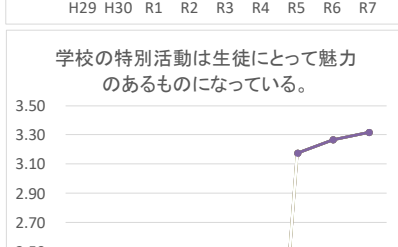
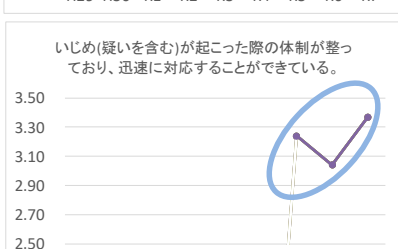
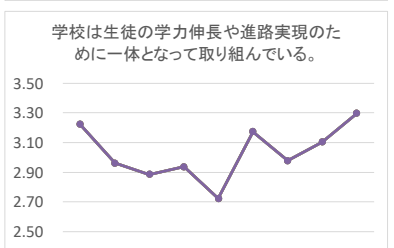
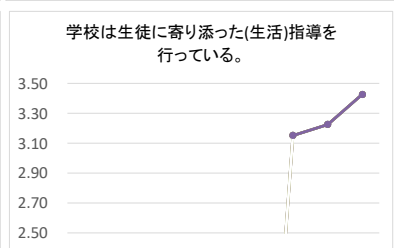
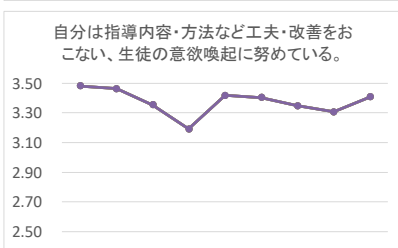
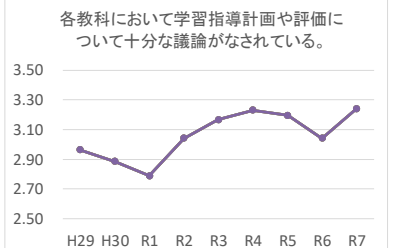
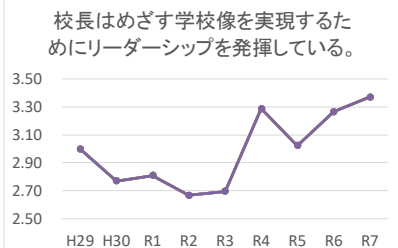
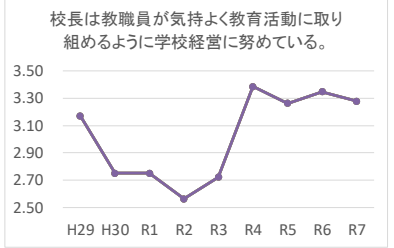
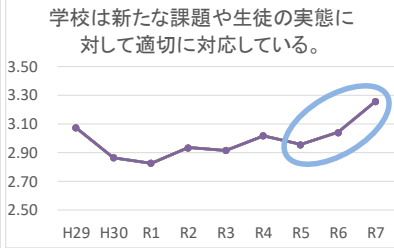
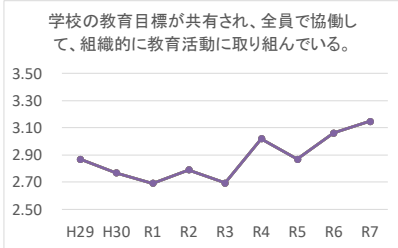
学校教育自己診断 教員用 経年変化

：昨年度比較で増加

『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点 としての平均値

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
全体	3.05	2.96	2.90	2.92	2.95	3.18	3.10	3.15	3.29
学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる。	2.87	2.77	2.69	2.79	2.69	3.02	2.87	3.06	3.15
学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している。	3.07	2.87	2.83	2.94	2.92	3.02	2.96	3.04	3.26
校長は教職員が気持ちよく教育活動に取り組めるように学校経営に努めている。	3.17	2.75	2.75	2.56	2.72	3.38	3.26	3.35	3.28
校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している。	3.00	2.77	2.81	2.67	2.69	3.29	3.02	3.27	3.37
学校にはPDCAサイクルに沿った改善思考が浸透している。	2.73	2.54	2.40	2.33	2.61	2.81	2.72	2.92	2.83
各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている。	2.96	2.88	2.79	3.04	3.17	3.23	3.20	3.04	3.24
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、生徒の意欲喚起に努めている。	3.48	3.46	3.35	3.19	3.42	3.40	3.35	3.31	3.41
学校は生徒に寄り添った(生活)指導を行っている。							3.15	3.23	3.43
学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる。	3.22	2.96	2.88	2.94	2.72	3.17	2.98	3.10	3.30
いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。							3.24	3.04	3.37
学校は生徒の健康や安全に十分配慮している。	3.40	3.33	3.17	3.31	3.28	3.35	3.24	3.31	3.39
学校の教育相談体制は十分に機能している。	3.09	3.23	3.15	3.11	2.89	3.15	3.15	3.29	3.28
学校の特別活動は生徒にとって魅力のあるものになっている。							3.17	3.27	3.32
学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するように努めている。	3.04	2.90	3.00	2.90	3.06	3.17	3.15	3.04	3.35
学校の人権教育体制は十分に機能している。	2.33	2.52	2.69	2.92	2.81	3.08	3.09	2.98	3.32
総合的に見て、寝屋川高校は高い教育力を発揮している。	3.09	3.10	2.85	2.96	2.92	3.23	3.07	3.18	3.35

学校教育自己診断 教員用経年変化 R7回答数54人



教員 肯定的な回答割合 経年比較

(そう思う・どちらかというと思う)

5P以上上昇項目: 8

5P以上下降項目: 2

	R.5 (%)	R.6 (%)	R.7 (%)
学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる。	71.7	87.8	90.7
学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している。	84.8	79.7	90.8
校長は教職員が気持ちよく教育活動に取り組めるように学校経営に努めている。	95.6	97.9	88.9
校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している。	82.6	93.9	92.5
学校にはP D C Aサイクルに沿った改善志向が浸透している。	58.7	79.5	72.3
各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている。	89.1	79.6	90.7
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、生徒の意欲喚起に努めている。	97.9	95.9	96.3
学校は生徒により沿った生徒（生活）指導を行っている。	91.3	93.9	96.3
学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる。	78.2	85.7	92.6
いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	87.0	77.6	90.7
学校は生徒の健康や安全に十分に配慮している。	93.4	89.8	96.3
学校の教育相談体制は十分に機能している。	89.2	93.8	92.6
学校の特別活動は生徒にとって魅力のあるものになっている。	89.2	89.8	96.3
学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するよう努めている。	89.1	85.7	96.3
学校の人権教育体制は十分に機能している。	86.9	79.6	96.3
総合的に見て、寝屋川高校は高い教育力を発揮している。	84.7	93.9	96.3

教員 強い肯定の割合 経年比較

5P以上上昇項目:11

5P以上下降項目:0

(そう思う)	R.4 (%)	R.5 (%)	R.6 (%)
学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる。	17.4	18.4	25.9
学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している。	15.2	24.6	35.2
校長は教職員が気持ちよく教育活動に取り組めるように学校経営に努めている。	30.4	36.7	38.9
校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している。	19.6	32.7	44.4
学校にはP D C Aサイクルに沿った改善志向が浸透している。	17.4	12.2	16.7
各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている。	32.6	24.5	33.3
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、生徒の意欲喚起に努めている。	37.0	34.7	44.4
学校は生徒により沿った生徒（生活）指導を行っている。	26.1	28.6	46.3
学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる。	21.7	24.5	37.0
いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	37.0	32.7	48.1
学校は生徒の健康や安全に十分に配慮している。	30.4	42.9	42.6
学校の教育相談体制は十分に機能している。	28.3	36.7	37.0
学校の特別活動は生徒にとって魅力のあるものになっている。	28.3	38.8	35.2
学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するよう努めている。	26.1	18.4	38.9
学校の人権教育体制は十分に機能している。	21.7	20.4	35.2
総合的に見て、寝屋川高校は高い教育力を発揮している。	32.6	24.5	38.9